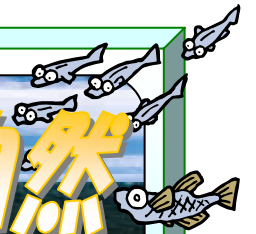




みんなで守ろう岐阜市の自然



岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第6号 平成17年10月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



第2回自然観察会の活動内容（10月15日開催）

- ・達目洞の状況確認
- ・達目洞自然の会 保全活動の体験会
- ・許すな！ヒメコウホネ盗掘！

第1回自然観察会では、大洞地区、山県北野地区をワークショップ参加者と共に観察しました。第2回では、もう一つの自然ふれあい地域の候補地である金華山・達目洞を観察しました。

達目洞の状況確認

達目洞は、周辺の道路建設計画の際、ヒメコウホネをはじめとした稀少種が生息する自然環境をどのように保全していくのか検討しはじめた時から、その保全活動の芽が生まれました。それから約10年、達目洞自然の会をはじめとした多くの市民の支えにより、現在の状況が維持されています。

湿地環境という特殊な環境にあるため、稲作をはじめとした水田管理、水路の管理、草地の管理等多くの人々の関わりによって、稀少種が生息できる環境が残っています。

このような人々の関わりが、保全活動においてどのくらい重要なのか、実感することができました。

人と自然の関わりから
育まれた達目洞の自然



高架の上から
達目洞の状況を観察



ヒメコウホネ

「達目洞自然の会」 保全活動の体験会

達目洞自然の会代表成瀬さんから、達目洞の自然環境全般についてや、保全活動の目的とその意義、ヒメコウホネをはじめとした稀少種の特性についてお話を頂きました。ヒメコウホネが自生する水路自体は限られた場所ですが、そのまわりの環境を保全しなければ「場」を保全していけないということがよく分かりました。

その後、達目洞自然の会の皆さんと共に、保全活動を体験しました。今回の活動は、達目洞に生えている外来植物（セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ・・・）の除草活動です。

小雨が降る中、みんなで草引きをしていくと、セイタカアワダチソウの黄色い花が徐々にではありますが、まわりから減っていきました。このような地道な活動が、今の達目洞を守っていることが理解できました。



許すな！ヒメコウホネ盗掘！

当日、自然観察会において、許せない状況が確認されました。「ヒメコウホネの盗掘」です。今年5月の盗掘事件に引き続き、2度目の盗掘です。

悪質な業者が闇ルートで販売する様なことも聞かれます。このような行為は本当に許せない行為です。



おわりに

今回の自然観察会では、保全活動の大切さ、その継続の効果というものが全体で見ることができました。

その一方、稀少種の盗掘という本当に困った行為とも直面しました。今後、観察会で感じた良い面、悪い面の両面に対応していくことができるビジョンを策定していきたいと思っています。ワークショップへの皆様のご参加をお待ちしております！！

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html